



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 大幸薬品株式会社

コード番号 4574 URL <http://www.seirogan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 柴田 高

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 吉川 友貞

TEL 06-6382-1135

四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	3,301	9.3	548	0.2	547	0.1	459	13.3
24年3月期第2四半期	3,019	39.0	547	—	546	—	405	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 472百万円 (16.1%) 24年3月期第2四半期 407百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	35.72	35.24
24年3月期第2四半期	31.33	30.68

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	11,529	8,813	76.0
24年3月期	12,261	8,783	71.3

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 8,759百万円 24年3月期 8,739百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,500	△2.7	550	6.8	530	△5.1	500	3.9	38.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	13,029,600 株	24年3月期	12,984,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	390,126 株	24年3月期	126 株
----------	-----------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	12,854,487 株	24年3月期2Q	12,931,854 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。平成24年11月12日付にて、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(以下、当上期)におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等により、緩やかに持ち直しつつあるものの、長引く欧州債務問題や円高に加え、中国経済の成長鈍化等、世界経済の停滞が懸念され、依然先行き不透明な状況で推移致しました。

この様な状況の下、当社グループの連結経営成績は、以下の通りとなりました。

当上期の売上高は、医薬品事業及び感染管理事業が各々前年同期を上回ったことから、対前年同期比281百万円増(9.3%増)の3,301百万円となりました。医薬品事業におきましては、国内向けが微減となったものの、海外向けは中国・香港市場を中心に堅調に推移致しました。また、感染管理事業におきましては、一般用及び業務用とも前年同期を上回る結果となりました。

売上総利益は、製造原価の増加や売上高の構成比の変化等により、原価率が上昇したものの、対前年同期比42百万円増(2.0%増)の2,142百万円となりました。一方、医薬品に係る広告宣伝費の増加や、昨年12月に移転した営業拠点(東京)に係る賃借料の増加等から、当上期の販売費及び一般管理費は、対前年同期比41百万円増(2.7%増)の1,593百万円となりました。

これらの結果、当上期の営業利益は対前年同期比1百万円増(0.2%増)の548百万円となり、経常利益は対前年同期比0百万円増(0.1%増)の547百万円となりました。また、前年同期に比して法人税等及び法人税等調整額が増加したものの、前年同期は特別損失140百万円(退職給付制度改定損や不動産に係る減損損失等)の計上があったことから、四半期純利益は、対前年同期比54百万円増(13.3%増)の459百万円となりました。

セグメント別の業績につきましては以下の通りであります。

(医薬品事業)

国内向けにつきましては、前第2四半期より販売を開始した小児五疳薬『樋屋奇応丸』の売上高への寄与があったものの、『正露丸』及び『セイロガン糖衣A』の当第1四半期における落込み(前期末の出荷増加の反動)により、当上期の国内向け売上高は前年同期に比して微減となりました。ただし、季節的に止瀉薬の需要が高まる第2四半期(7月から9月)におきましては、主力の『セイロガン糖衣A』が前第2四半期を上回る堅調な推移を示しました。

海外向けにつきましては、中国市場、香港市場及び台湾市場ともに堅調に推移し、売上高は前年同期を上回る結果となりました。

これらにより、当上期の医薬品事業の売上高は、対前年同期比133百万円増(4.9%増)の2,843百万円となりました。また、損益面につきましては、製造原価の増加(賞与引当金や修繕費等が前期から繰越された影響等)や売上高の構成比の変化(海外向け売上高比率の上昇)等から、原価率が上昇したものの、売上総利益は前年同期に比して増加致しました。一方、当上期に、国内及び海外において新たなTVコマーシャルの製作及び放映開始を行ったこと等から、販売費及び一般管理費は前年同期に比して増加致しました。この結果、セグメント損益は対前年同期比83百万円減(6.6%減)となる1,189百万円の利益となりました。

(感染管理事業)

主力製品『クレベリンゲル』に対する前年の大口受注の反動が、当第1四半期に影響したものの、量販店への営業面を例年以上に強化(アプローチ先の拡充や販促提案の早期化)したことから、当上期の一般用製品の売上高は前年同期を上回る結果となりました。また、『クレベリンGスティックタイプ』や『クレベリン発生機』等、業務用製品の販売も伸長したことから、当上期の感染管理事業の売上高は、対前年同期比149百万円増(50.3%増)の446百万円となりました。損益面につきましては、売上高の構成比の変化(業務用製品割合の上昇等)等から、原価率が上昇したものの、売上総利益は前年同期に比して増加致しました。一方、組織再編に伴い、当事業に係る人件費等が増加したことから、販売費及び一般管理費は前年同期に比して増加致しました。この結果、セグメント損益は対前年同期比2百万円減の42百万円の損失(前年同期は40百万円の損失)となりました。

(その他事業)

その他事業につきましては、主に木酢液を配合した入浴液や園芸用木酢液等の製造販売を行いました。売上高は対前年同期比1百万円減(9.0%減)の10百万円となり、セグメント損益は対前年同期比1百万円減の10百万円の損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態

当第2四半期連結会計期間における資産合計は11,529百万円(前連結会計年度比732百万円減)となりました。また、負債合計は2,715百万円(同762百万円減)、純資産合計は8,813百万円(同29百万円増)となりました。前連結会計年度からの主な変動要因は、現金及び預金の減少等による流動資産759百万円の減少、未払金や賞与引当金等の減少による流動負債743百万円の減少、また、四半期純利益による利益剰余金の増加やストック・オプションの払込による資本金及び資本剰余金の増加等が、自己株式の取得金額等を上回ったことによる純資産29百万円の増加であります。

なお、自己資本比率は前連結会計年度から4.7ポイント上昇し、76.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、現金及び現金同等物(以下、資金)が前連結会計年度より554百万円減少し、当第2四半期連結累計期間末残高は、3,899百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は1百万円となりました。税金等調整前四半期純利益547百万円に加え、減価償却費117百万円やたな卸資産の減少127百万円等の資金増加に対し、賞与引当金及び役員賞与引当金の減少合計271百万円や仕入債務の減少156百万円、未払金の減少230百万円等の資金減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は96百万円となりました。主に医薬品事業に係る設備投資の支払いによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は464百万円となりました。主に自己株式の取得による支出285百万円や配当金の支払い193百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成24年5月14日に公表致しました予想値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更等

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,661,298	4,081,105
受取手形及び売掛金	2,443,154	2,445,932
商品及び製品	471,702	393,588
仕掛品	640,128	619,047
原材料及び貯蔵品	240,898	214,864
その他	273,275	215,451
貸倒引当金	△18,161	△17,503
流動資産合計	8,712,297	7,952,485
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,072,729	1,046,093
機械装置及び運搬具(純額)	240,355	276,487
土地	1,397,788	1,397,788
その他(純額)	151,396	175,788
有形固定資産合計	2,862,270	2,896,158
無形固定資産	59,753	52,283
投資その他の資産	626,913	628,124
固定資産合計	3,548,937	3,576,566
資産合計	12,261,234	11,529,052
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	387,106	231,990
未払法人税等	15,113	35,368
返品調整引当金	239,000	271,000
賞与引当金	219,920	44,631
役員賞与引当金	96,666	—
その他	1,447,521	1,078,812
流動負債合計	2,405,328	1,661,802
固定負債		
退職給付引当金	476,241	477,533
役員退職慰労引当金	8,500	—
長期未払金	565,700	562,700
その他	21,883	13,607
固定負債合計	1,072,325	1,053,840
負債合計	3,477,653	2,715,643

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	155,437	167,270
資本剰余金	66,666	78,499
利益剰余金	8,630,439	8,894,848
自己株式	△204	△281,675
株主資本合計	8,852,338	8,858,942
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,597	19,806
為替換算調整勘定	△132,324	△119,137
その他の包括利益累計額合計	△112,727	△99,330
新株予約権	43,969	53,797
純資産合計	8,783,580	8,813,409
負債純資産合計	12,261,234	11,529,052

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	3,019,854	3,301,544
売上原価	920,785	1,126,978
売上総利益	2,099,068	2,174,566
返品調整引当金戻入額	246,000	239,000
返品調整引当金繰入額	245,000	271,000
差引売上総利益	2,100,068	2,142,566
販売費及び一般管理費	1,552,393	1,593,806
営業利益	547,674	548,759
営業外収益		
受取利息	953	1,765
受取配当金	911	935
受取賃貸料	2,521	4,063
受取保険金	7,980	3,691
その他	7,707	3,298
営業外収益合計	20,074	13,754
営業外費用		
為替差損	20,425	9,137
支払手数料	—	4,145
その他	841	2,068
営業外費用合計	21,266	15,351
経常利益	546,481	547,161
特別損失		
減損損失	35,298	—
災害による損失	5,432	—
退職給付制度改定損	100,017	—
特別損失合計	140,747	—
税金等調整前四半期純利益	405,734	547,161
法人税、住民税及び事業税	10,979	27,174
法人税等調整額	△10,363	60,821
法人税等合計	616	87,995
少数株主損益調整前四半期純利益	405,117	459,166
四半期純利益	405,117	459,166

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	405,117	459,166
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,453	209
為替換算調整勘定	629	13,187
その他の包括利益合計	2,082	13,396
四半期包括利益	407,199	472,563
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	407,199	472,563
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	405,734	547,161
減価償却費	122,681	117,840
減損損失	35,298	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	119,828	1,291
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,100	△8,500
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△1,000	32,000
賞与引当金の増減額(△は減少)	△75,487	△175,321
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△96,666
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5,508	△657
受取利息及び受取配当金	△1,864	△2,700
為替差損益(△は益)	9,047	4,137
売上債権の増減額(△は増加)	△703,040	△2,496
たな卸資産の増減額(△は増加)	75,064	127,362
仕入債務の増減額(△は減少)	35,900	△156,551
未払金の増減額(△は減少)	△485,317	△230,238
その他	96,080	△155,616
小計	△360,465	1,046
利息及び配当金の受取額	1,392	3,244
法人税等の支払額	△2,827	△2,333
営業活動によるキャッシュ・フロー	△361,900	1,957
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△22,097	△178,199
定期預金の払戻による収入	47,068	208,464
有形固定資産の取得による支出	△103,524	△122,101
有形固定資産の売却による収入	19,000	—
その他	△14,436	△4,737
投資活動によるキャッシュ・フロー	△73,990	△96,573
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△8,626	△8,836
自己株式の取得による支出	—	△285,616
配当金の支払額	△62,176	△193,728
新株予約権の行使による株式の発行による収入	17,438	23,666
財務活動によるキャッシュ・フロー	△53,364	△464,514
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,915	4,576
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△491,171	△554,554
現金及び現金同等物の期首残高	4,073,490	4,454,442
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,582,319	3,899,887

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年6月1日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、自己株式が281,471千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が281,675千円となっております。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,710,492	297,387	11,974	3,019,854	—	3,019,854
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,710,492	297,387	11,974	3,019,854	—	3,019,854
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	1,272,757	△40,143	△9,069	1,223,545	△675,870	547,674

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△675,870千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△675,870千円が含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「医薬品事業」及び「感染管理事業」セグメントの資産において、土地等の譲渡契約の締結に伴い、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては35,298千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,843,764	446,878	10,901	3,301,544	—	3,301,544
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,843,764	446,878	10,901	3,301,544	—	3,301,544
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	1,189,158	△42,369	△10,984	1,135,804	△587,044	548,759

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△587,044千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△587,044千円が含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に記載の通り、当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益又はセグメント損失(△)に与える影響額は軽微であります。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。